

金属積層造形システムの紹介

金属積層造形により3Dモデルから複雑な3次元形状を迅速に作製できます

本システムは、3次元立体形状データに基づいて金属材料粉末にレーザ光を照射し、1層ごとに溶解・固体化させ、順次積層することにより立体形状を作製することができます。**多品種少量品**や**試作品**を迅速に作製できることに加えて、従来の（金属を削って製品を作製する等の）加工方法では作製が難しいものづくりが可能であり、**複雑形状を有する金属部品**を作製することができます。



新製品の開発期間短縮
製品の高付加価値化
に活用できます!!

メーカー名 : EOS GmbH
形式 : EOSINT M280

<主な仕様>

造形可能領域 : 250×250×325mm
レーザ : Yb-fiber laser
レーザ出力 : 200W, 400W(選択可能)
材料粉末 : マルエージング鋼
アルミニウム合金
コバルトクロム合金
ニッケル基超合金
ステンレス鋼

適用事例



サイクルタイム短縮
成型品の品質向上

三次元立体水管を
有する金型^{※1}



部品点数削減、軽量化

設計最適化された自動車用ナックル^{※1}



多品種
少量品

複雑形状の
ハイヒール^{※2}



緻密な
多孔質構造

カスタマイズ
医療用インプラント^{※1}

※1 NITデータエンジニアリングシステム社の提供
※2 EOS社、Kerrie Luft社の提供